

小野嘉明教授著作目録

1927年

The behavior of cells in tissue cultures of *Oryzias latipes* with special reference to the ectodermic epithelium. Annot. Zool. Japon. 11(2), 145-149.

1931年

テリアの連想形成に関する実験 I 動・雑, 43(513), 473-483.

メダカの雌雄に於ける試行並に錯誤現象 (I) 動・雑, 43(518), 675-787.

1934年

“Exploratory drive” に依るメダカの定位行動の条件附は可能であるか? 動・心, 1(2), 6-11.

動物心理学問答 総合科学 1(2), 52-53.

動物の社会行動に関する実験的研究現状 総合科学, 1(3), 39-49.

“もの云ふ動物”, 漫語 植・動, 2(6), 1092.

“もの云ふ動物”, 漫語[II] 植・動, 2(7), 1256.

“もの云ふ動物”, 漫語[III] 植・動, 2(8), 1420.

“もの云ふ動物”, 漫語[IV] 植・動, 2(10), 1750.

“もの云ふ動物” 漫語[V] 植・動, 2(11), 1918.

動物心理学入門 動・心, 1(1), 9-11.

1935年

魚類の群游機構に就て(第1報)(丘直通と共著) 動・心, 2(1), 10-17.

続動物心理問答 総合科学, 1(7), 46-48.

動物心理学入門 動・心, 1(3・4), 93-97.

動物の社会行動 科学, 5(6),

動物の社会行動 科学, 5(9),

何が SIEBOLD をして日本動物学に貢献せしめたか(シーボルトと日本の科学) 科学, 5(10), 456.

1936年

魚類の群游機構に就て(第2報) 動・心, 2(3), 65-75.

魚類の群游機構に就て(第3報) 動・心, 2(4), 100-103.

生物心理学概論(丘直通と共訳) 三省堂

動物心理学と進化論 植・動, 4(1), 246-252.

1937年

Orienting behavior of *Oryzias latipes* and other fishes. J. Fac. Sci. Imp. Univ. Tokyo, 4(3), 393-400.

Conditioned orientation of the fighting fish. J. Fac. Sci. Imp. Univ. Tokyo, 4(3), 401-412.

1938年

シーボルトと動物学 シーボルト研究(日独文化協会編) 597-639, 岩波書店

1940年

生物心理学各論(丘直通と共訳) 三省堂

1941年

Effect of optic lobe ablation on the conditioned orienting behavior of *Mscropodus opercularis*. (unpublished)

4

1944年

メダカの営巣行動における可塑性 動・心・年報, 1, 27-30.

1947年

蟻くらべ 四国春秋, 17, 9.

1948年

メダカの食餌行動における社会的容易化 動・心・年報, 2, 37-44.

生物界のなぞ 世界のなぞ (日本少国民文庫7), 第2部, 121-166, 新潮社

1949年

サルの心 動物の心, 1-26, 清水書房

魚の心 動物の心, 99-131, 清水書房

下等な動物たちの心 動物の心, 181-202, 清水書房

動物の心の中心はどこはあるか 動物の心, 223-245, 清水書房

動物夜話 四国春秋, 37, 40-41.

動物小話 四国春秋, 44, 13.

動物の知恵 私たちの国語 三上 (文部省検定済教科書), 33-40.

1950年

ニワトリの社会的順位についての1観察 香大・学芸, 研究報告Ⅱ, 1, 17-21.

動物の話 四国春秋, 52, 30-31.

魚の縄張り 月刊香川 (香川県弘報課), 2(8), 11.

子供のための生物学教室① 季節の手帖, 1(6), 31-33.

1951年

ゾウリムシについての訓練実験 (抄録) 動・雑, 60(1・2), 8.

クロヤマアリについての迷路実験 香大・学芸・研究報告Ⅱ, 2, 71-75.

動物愛護覚え書 月刊香川 (香川県弘報課), 3(4), 10-11.

1952年

メダカの計算能力 (抄録) 日本動物学会中・四国支部会報, 4, 8.

動物の心理 生物学大系, 7, 338-356, 中山書店

1953年

カイウサギの食餌行動にみられる社会順位について 動・心・年報, 3, 76-78.

種内認知と性的標徴との関係について (抄録) 日本動物学会中・四国支部会報, 5, 8.

メダカの種内認知における視覚的役割について (抄録) 動・雑, 62(3・4), 156.

動物の伝達行動 動・心・年報, 3, 1-10

コウモリの超音波探知器 科学読売, 5(11), 40-42.

魚の色覚 遺伝, 7(12), 16-17.

1954年

エダワカレツリガネムシ *Carchesium polypinum* Ehrenberg の条件反応について (植松辰美と共著)
動・心・年報, 4, 27-34.

栗林公園南湖における錦鯉の社会調査 (植松辰美と共著) (抄録) 日本動物学会中・四国支部会報, 6, 10.

メダカの性行動の分析 (抄録) 動・雑, 63(11, 12), 496-7.

サルとお金 科学読売, 6(2), 38-39, 49.

1955年

ヒメダカ *Oryzias latipes* の性行動についての一, 二の実験 (植松辰美と共著) 動・心・年報, 5, 57-62.

ヒメダカの種内認知についての実験的研究 (学位論文)

Experimental studies of intraspecific recognition in *Oryzias latipes*. Mem. Fac. Lib. Arts & Educ., Kagawa Univ., II, 1-37.

脊椎動物行動実験法 生物学実験法講座, VIII, F1, 中山書店

研究とは何か? どうあるべきか? (座談会) 理科 (自然科学研究会機関誌), 40-42, 香大・学芸・自然科学研究会

1956年

メダカの性行動の“三角関係”についての実験 (抄録) 動・雑, 65(3・4), 103.

ヒメダカ *Oryzias latipes* の性行動についての実験 動・心・年報, 6, 121-122.

行動の発達 生命の科学, 4, 105-151, 中山書店

動物の心を学ぶ人のために 自然, 11 (127), 62-67.

1957年

メダカの偽性行動 (抄録) 動・雑, 66(2・3), 175.

ヒメダカの性行動展開の順序について (植松辰美と共著) (抄録) 動・雑, 66(2・3), 175.

Mating ethogram in *Oryzias latipes*. (植松辰美と共著) J. Fac. Sci., Hokkaido Univ., Series VI, Zoology, 13(1-4), 197-202.

鬼が島 (観光学術読本) 編著 高松市観光課

女木島の生物 (植松辰美その他と共著) 鬼が島, 1-30.

動物心理学 心理学事典, 519-522, 平凡社

1958年

ヒメダカ *Oryzias latipes* 社会行動の季節的变化 (植松辰美と共著) 動・心・年報, 8, 63-69.

メダカ♂の性行動の2相 (植松辰美と共著) (抄録) 日本生態学会中・四国地区会報, 3, 1.

動物心理学 現代生物学講座, 4, 264-298, 共立出版

1959年

メダカ性行動のサイン刺激の実験的分析 I (植松辰美と共著) 動・心・年報, 9, 133.

Orang-utan の“文字”による伝達行動 I 数字の学習実験 (1) (植松辰美と共著) 香大・学芸・研究報告, II, (77), 1-13.

五色台 (観光学術読本) 編著 高松市観光課

五色台の野鳥を訪ねて (植松辰美と共著) 五色台, 132-139.

動物社会の秩序 警声, 49, 7-11.

1960年

動物社会行動研究における諸傾向 日本生態学会中・四国地区会報, 6, 2.

オランウータンの伝達行動についての1, 2の実験 (植松辰美と共著) (抄録) 動・雑, 69(1・2), 76.

Orang-utan の“文字”による伝達行動 I 数字の学習実験 (2) (植松辰美と共著) 香大・学芸・研究報告, II, (85), 1-9.

1961年

Orang-utan の“文字”による伝達行動 I 数字の学習実験 (3) (植松辰美と共著) 香大・学芸・研究報告, II, (100), 1-15.

南郊高松 (観光学術読本) 編著 高松市観光課

高松南郊池の秋鳥 (植松辰美と共著) 南郊高松, 91-97.

動物の本能と知能 遺伝, 15 (1), 8-11.

“コケッココ” どうぶつと動物園, 13, 7 (138), 2.

6

ものをいうリーサスザル モンキー, 47, 12-13.

巻頭言 理科(自然科学研究会機関誌), 4, 香大・学芸・自然科学研究会

1962年

屋島(観光学術読本)編著 高松市観光課

屋島洞窟の動物(植松辰美と共著)屋島, 45-48.

1963年

メダカのたたかい行動と体色変化(植松辰美と共著)金大・理・附属能登臨海実験所年報, 3, 1-4.

動物の行動 生物指導のポイント㊸ 遺伝, 17(9), 57-60.

わが国における動物心理学の展開—日本動物心理学会30年の歩みを回顧して—(抄録)動・心・年報, 13, 1.

新春てい談 警声, 71, 78-87.

1964年

Sequence of the mating activities in *Oryzias latipes*. (unpublished) (植松辰美と共著)

1965年

Experimental analysis of the sign stimuli in the mating behaviour in *Oryzias latipes*.

(unpublished) (植松辰美と共著)

1966年

美術の発生—類人猿の画かき行動 訳 法政大学出版局